

# 履修ロードマップ「国際関係学科:政治・法」分野

学科目分野	A:基礎教育分野 〔基礎・教養科目系列〕				B:政治・法分野の基幹科目 〔専門系列1〕			C:関連専門科目 〔専門系列2〕			D:実践型学修科目 〔キャリア・プロジェクト系列〕			各期履修単位数	積算履修単位数
	学年/学期	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位		
4年次秋学期					M-SEM301	専門演習	2								
					M-SEM401	卒業研究	4								
履修単位の目安							6							6	128/124
4年次春学期					M-SEM301	専門演習	2								
履修単位の目安							2							2	122/124
4年次の学修の狙い	<p>①大学時代の学修・研究の仕上げ段階として、学修成果の集大成を行う。同時に、②社会で求められる調査・分析・報告などの総合的な学力を磨く。さらに③研究・調査・分析等を深化させ、研究成果を卒業研究として公表することを旨とする。④DP要件を満たすことを最終確認する。</p> <p>秋学期 A:可能ならば広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。卒業要件を満たしているか必ず確認すること。□ B・C:専門科目・春学期の学修に加えて卒業研究に取り組み実践的な学修・研究の集大成とする。卒業要件を満たしているか必ず確認すること(6単位以上)。□ D:可能ならばプロジェクト科目の学修に4年生として取り組みリーダーシップの養成等を図る。□</p> <p>春学期 A:可能ならば広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。卒業要件を満たしているか必ず確認すること。□ B・C:大学での学修・研究の仕上げとして専門分野での学びの成果を高めるような履修を行う。卒業要件を満たしているか必ず確認すること(2単位以上)。□ D:可能ならばプロジェクト科目の学修に4年生として取り組みリーダーシップの養成等を図る。□</p>														

学科目分野	A:基礎教育分野 〔基礎・教養科目系列〕				B:政治・法分野の基幹科目 〔専門系列1〕			C:関連専門科目 〔専門系列2〕			D:実践型学修科目 〔キャリア・プロジェクト系列〕			各期履修単位数	積算履修単位数
	学年/学期	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位		
3年次春学期 & 秋学期					M-SEM301	専門演習	2+2	M-ARS303	アメリカの政治と外交	4	C-	[キャリア形成支援科目]			
					M-LAW309	比較憲法論	4	M-ARS315	西ヨーロッパの政治と外交	4	G-	[プロジェクト科目]			
					M-POL311	政治思想	4	M-ARS316	東ヨーロッパの政治と外交	4					
					M-POL304	ナショナリズム論	4	M-ARS309	中国の政治と外交	4	M-	(現場学習プログラム(履修制限外))			
					M-POL301	軍縮安全保障論	4	M-ARS318	朝鮮半島の政治と外交	4					
					M-IRE308	国際組織論	4	M-LNG312	世界の言語政策	4					
					M-IRE302	国際環境論	4	M-MED321	メディア倫理・法制	4					
					M-IRE307	国際人権論	4	M-ARS312	東アジア安全保障論	4					
					M-POL309	比較政治学	4	M-ARS310	中東の政治	4					
					M-IRE309	国際統合論	4	M-POL305	日本外交論	4					
履修単位の目安(秋学期)										8				2+2	22
履修単位の目安(春学期)							10			8				2	20
3年次の学修の狙い	<p>①専門分野を中心に、主体的な学修・研究・調査の基盤作りを行う。②専門分野科目及び基礎教育分野科目の幅広い学修とを連携させる。③キャリア形成支援科目等で実践的・課題解決型学修を行い社会人としての基礎力を修得する。④教養・関連専門科目で幅広い観点からの判断ができる能力を養う。</p> <p>秋学期 A:可能ならば、広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。卒業要件をこの段階で満たすよう計画的に履修する。□ B・C:2年次までの学修をさらに発展させ専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(18単位程度)。□ D:4年次での進路活動を念頭に、インターンシップやプロジェクト科目等実践型学修に積極的に取り組む(春・秋学期または夏休み等を通じて6単位程度)。□</p> <p>春学期 A:可能ならば、広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。卒業要件をこの段階で満たすよう計画的に履修する。□ B・C:2年次までの学修をさらに発展させ専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(18単位程度)。□ D:4年次での進路活動を念頭に、インターンシップやプロジェクト科目等実践型学修に積極的に取り組む(春・秋学期または夏休み等を通じて6単位程度)。□</p>														

学科目分野	A:基礎教育分野 〔基礎・教養科目系列〕				B:政治・法分野の基幹科目 〔専門系列1〕			C:関連専門科目 〔専門系列2〕			D:実践型学修科目 〔キャリア・プロジェクト系列〕			各期履修単位数	積算履修単位数
	学年/学期	科目コード/ナンバー	新No	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名		
2年次春学期 & 秋学期	G-LAW103	G-LAW103	法学	4	M-SEM201	基礎演習	2+2	M-IRE206	国際理解論	4	C-	[キャリア形成支援科目]			
	G-LAW101	G-LAW101	憲法	4	M-POL201	国際政治学	4	M-POL202	日本政治史	4	G-	[プロジェクト科目]			
	G-POL101	G-POL101	政治学	4	M-LAW201	国際法	4				M-	(現場学習プログラム(履修制限外))			
	G-ECN101	G-ECN101	経済学	4											
	G-SOC104	G-SOC104	現代の社会	4											
	G-OHM108	G-OHM108	人文地理学	4											
	G-SCI106	G-SCI106	統計学入門	4											
	L-		[言語スキル科目・英語]												
	L-		[言語スキル科目・その他外国語]												
履修単位の目安(秋学期)				6			6			4				2+2	20
履修単位の目安(春学期)				6			6			4				2	18
2年次の学修の狙い	<p>①専攻分野における適切で効果的な学修・研究・調査等の基礎能力の修得を図る。②専門科目での自律的・能動的な学びを行うための足固めとする。③実践的ないしキャリア志向の科目を学修することで、課題解決能力を養成する。④グローバル人材として幅広い教養を磨く学修をする。</p> <p>秋学期 A:広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。卒業要件をなるべく2年次で満たせるよう計画的に履修する(教養コア科目から4単位程度、言語スキル科目から2単位程度)。□ B・C:2年次春学期までの学習を基礎に専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(10単位程度)。□ D:現場体験から学びとるインターンシップやプロジェクト科目などの実践型学修に積極的に取り組む(春・秋学期または夏休み等を通じて6単位程度)。□</p>														

春学期	<p>A: 広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。卒業要件をなるべく2年次で満たせるよう計画的に履修する(教養コア科目から4単位程度、言語スキル科目から2単位程度)。□</p> <p>B・C: 1年次の履修の上に積み上げる形で専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(10単位程度)。□</p> <p>D: 現場体験から学びとるインターンシップやプロジェクト科目などの実践型学修に積極的に取り組む(春・秋学期または夏休み等を通して6単位程度)。□</p>
-----	---



学科目分野	A: 基礎教育分野 〔基礎・教養科目系列〕				B: 政治・法分野の基幹科目 〔専門系列1〕			C: 関連専門科目 〔専門系列2〕			D: 実践型学修科目 〔キャリア・プロジェクト系列〕			
	科目コード/ナンバー	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	
初年次 秋学期	G-SEM101	G-SEM101	初年次演習	2	M-IRE203	国際関係学入門(必修)	2	M-IRE205	国際ボランティア論	4	C-	〔キャリア形成支援科目〕 〔プロジェクト科目〕 (現場学習プログラム(履修制限外))		
	L-		〔言語スキル科目・英語〕	2				M-IRE201	国際援助技術論	4	G-			
	G-		〔教養コア科目〕	4							M-			
	L-		〔言語スキル科目・その他外国語〕	2										
	G-		〔健康・スポーツ科学・実習〕	2										
履修単位の目安				10			2			8			20	40/124
初年次 春学期	G-SEM101	G-SEM101	初年次演習	2							C-	〔キャリア形成支援科目〕 〔プロジェクト科目〕		
	C-SEM101	C-SEM101	大学生生活デザイン演習	2							G-			
	G-INF101	G-INF101	ICT基礎	2										
	L-		〔言語スキル科目・英語〕	4										
	G-		〔教養コア科目〕	8										
	L-		〔言語スキル科目・その他外国語〕	2										
	G-		〔健康・スポーツ科学・実習〕	2										
履修単位の目安				20									20	20/124
初年次の 学修の狙い	基礎教育分野の学修を中心に、①大学生としての学修スキル・基礎的能力や問題意識修得などを旨とする。②自律的で主体的な学修態度を高める。③キャリアを目指す学びの目標を考え、学修プランを立てる。④グローバルな視点から国や地域の問題を考え、課題に取り組む学修をする。													
	秋学期	<p>A: 2年次以降の学修に備え基礎教育科目を選択履修する。教養コア科目については、なるべく2年次の欄に掲載されている科目群の中から選択して履修計画を立てる(TIUコア科目2単位、英語科目2単位以上、教養コア科目から4単位程度、その他外国語/健康スポーツ科学・実習/その他から2単位程度)。□</p> <p>B・C: 国際関係学入門は必修であり、2年次以降の専門学修の基礎となるので必ず履修すること。その他、上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(10単位程度)。□</p> <p>D: 余裕があればプロジェクト科目、キャリア形成支援科目などの実践型学修に取り組む。□</p>												
	春学期	<p>A: TIUコア科目(必修科目)、英語科目を優先して履修する。教養コア科目については、なるべく2年次の欄に掲載されている科目群の中から選択して履修計画を立てる(TIUコア科目6単位、英語科目4単位、教養コア科目から8単位程度、その他外国語/健康スポーツ科学・実習/その他から2単位程度)。□</p> <p>B・C: 専門科目は200番台のため初年次春学期には履修できない。A、D分野の履修を確実に行い、秋学期に備えること。□</p> <p>D: 余裕があればプロジェクト科目、キャリア形成支援科目などの実践型学修に取り組む。□</p>												

国際関係学科 政治・法分野卒業必要単位履修モデル

	基礎教育分野			専門分野			その他
	TIUコア科目	教養コア科目 言語スキル科目「英語」 以外	言語スキル 科目「英語」	国際関係学 入門(必修)	所属学科専 門分野200番 台	所属学科専 門分野300・ 400番台	
卒業必要単位数	8	16	6	2	10	32	50
修得単位数	8	16	6	2	10	32	54
4年次	秋						6
	春						2
3年次	秋					14	8
	春					18	2
2年次	秋						20
	春				2		16
初年次	秋	2	6	2	2	8	
	春	6	10	4			

履修ロードマップ「国際関係学科:経済・経営」分野

学科目分野	A:基礎教育分野 〔基礎・教養科目系列〕				B:経済・経営分野の基幹科目 〔専門系列1〕				C:関連専門科目 〔専門系列2〕				D:実践型学修科目 〔キャリア・プロジェクト系列〕				各期履修単位数	積算履修単位数
	学年/学期	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位		
4年次秋学期					M-SEM301	専門演習	2											
履修単位の目安					M-SEM401	卒業研究	4											
4年次春学期					M-SEM301	専門演習	2											
履修単位の目安							2											
4年次の学修の狙い	<p>①大学時代の学修・研究の仕上げ段階として、学修成果の集大成を行う。同時に、②社会で求められる調査・分析・報告などの総合的な学力を磨く。さらに③研究・調査・分析等を深化させ、研究成果を卒業研究として公表することを旨とする。④DP要件を満たすことを最終確認する。</p> <p>秋学期 A: 可能ならば広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。卒業要件を満たしているか必ず確認すること。□ B・C: 専門科目・春学期の学修に加えて卒業研究に取り組み実践的な学修・研究の集大成とする。卒業要件を満たしているか必ず確認すること(6単位以上)。□ D: 可能ならばプロジェクト科目の学修に4年生として取り組みリーダーシップの養成等を図る。□</p> <p>春学期 A: 可能ならば広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。卒業要件を満たしているか必ず確認すること。□ B・C: 大学での学修・研究の仕上げとして専門分野での学びの成果を高めるような履修を行う。卒業要件を満たしているか必ず確認すること(2単位以上)。□ D: 可能ならばプロジェクト科目の学修に4年生として取り組みリーダーシップの養成等を図る。□</p>																	



学科目分野	A:基礎教育分野 〔基礎・教養科目系列〕				B:経済・経営分野の基幹科目 〔専門系列1〕				C:関連専門科目 〔専門系列2〕				D:実践型学修科目 〔キャリア・プロジェクト系列〕				各期履修単位数	積算履修単位数
	学年/学期	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位		
3年次春学期 & 秋学期					M-SEM301	専門演習	2+2	M-IRE306	国際資源論	4	C-							
履修単位の目安(秋学期)					M-ECN316	国際金融論	4	M-MNG315	多国籍企業論	4	G-							
履修単位の目安(春学期)					M-MNG310	国際経営論	4	M-ECN326	日本経済論	4	M-							
3年次の学修の狙い	<p>①専門分野を中心に、主体的な学修・研究・調査の基盤作りを行う。②専門分野科目及び基礎教育分野科目の幅広い学修とを連携させる。③キャリア形成支援科目等で実践的・課題解決型学修を行い社会人としての基礎力を修得する。④教養・関連専門科目で幅広い観点からの判断ができる能力を養う。</p> <p>秋学期 A: 可能ならば、広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。卒業要件をこの段階で満たすよう計画的に履修する。□ B・C: 2年次までの学修をさらに発展させ専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。Cについては、他分野のB系列専門科目や商学部・経済学部を設置されている専門科目(300番台中心)も視野に入れること。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(18単位程度)。□ D: 4年次での進路活動を念頭に、インターンシップやプロジェクト科目等実践型学修に積極的に取り組む(春・秋学期または夏休み等を通じて6単位程度)。□</p> <p>春学期 A: 可能ならば、広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。卒業要件をこの段階で満たすよう計画的に履修する。□ B・C: 2年次までの学修をさらに発展させ専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。Cについては、他分野のB系列専門科目や商学部・経済学部を設置されている専門科目(300番台中心)も視野に入れること。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(18単位程度)。□ D: 4年次での進路活動を念頭に、インターンシップやプロジェクト科目等実践型学修に積極的に取り組む(春・秋学期または夏休み等を通じて6単位程度)。□</p>																	



学科目分野	A:基礎教育分野 〔基礎・教養科目系列〕				B:経済・経営分野の基幹科目 〔専門系列1〕				C:関連専門科目 〔専門系列2〕				D:実践型学修科目 〔キャリア・プロジェクト系列〕				各期履修単位数	積算履修単位数
	学年/学期	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位		
2年次春学期 & 秋学期	G-ECN101	G-ECN101	経済学	4	M-SEM201	基礎演習	2+2	M-IRE202	国際開発論	4	C-							
履修単位の目安(秋学期)	G-LAW103	G-LAW103	法学	4	M-ECN210	国際経済学	4	M-										
履修単位の目安(春学期)	G-SOC104	G-SOC104	現代の社会	4														
2年次の学修の狙い	<p>①専攻分野における適切で効果的な学修・研究・調査等の基礎能力の修得を図る。②専門科目での自律的・能動的な学びを行うための足固めとする。③実践的ないしキャリア志向の科目を学修することで、課題解決能力を養成する。④グローバル人材として幅広い教養を磨く学修をする。</p> <p>秋学期 A: 広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。卒業要件をなるべく2年次で満たせるよう計画的に履修する(教養コア科目から4単位程度、言語スキル科目から2単位程度)。□ B・C: 2年次春学期までの学修を基礎に専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。Cについては、他分野のB系列専門科目や商学部・経済学部を設置されている専門科目(200番台中心)も視野に入れること。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(10単位程度)。□ D: 現場体験から学びとるインターンシップやプロジェクト科目などの実践型学修に積極的に取り組む(春・秋学期または夏休み等を通じて6単位程度)。□</p> <p>春学期 A: 広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。卒業要件をなるべく2年次で満たせるよう計画的に履修する(教養コア科目から4単位程度、言語スキル科目から2単位程度)。□ B・C: 1年次の履修の上に積み上げる形で専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。Cについては、他分野のB系列専門科目や商学部・経済学部を設置されている専門科目(200番台中心)も視野に入れること。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(10単位程度)。□ D: 現場体験から学びとるインターンシップやプロジェクト科目などの実践型学修に積極的に取り組む(春・秋学期または夏休み等を通じて6単位程度)。□</p>																	



学科目分野	A:基礎教育分野 〔基礎・教養科目系列〕				B:経済・経営分野の基幹科目 〔専門系列1〕			C:関連専門科目 〔専門系列2〕			D:実践型学修科目 〔キャリア・プロジェクト系列〕			
	科目コード/ ナンバー		授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	
初年次 秋学期	G-SEM101	G-SEM101	初年次演習	2	M-IRE203	国際関係学入門(必修)	2	M-IRE205	国際ボランティア論	4	C-	〔キャリア形成支援科目〕 〔プロジェクト科目〕 〔現場学習プログラム(履修制限外)〕		
	L-		〔言語スキル科目・英語〕	2				M-IRE201	国際援助技術論	4	G-			
	G-		〔教養コア科目〕	4							M-			
	L-		〔言語スキル科目・その他外国語〕	2										
	G-		〔健康・スポーツ科学・実習〕	2										
履修単位の目安				10			2			8			20	40/124
初年次 春学期	G-SEM101	G-SEM101	初年次演習	2							C-	〔キャリア形成支援科目〕 〔プロジェクト科目〕		
	C-SEM101	C-SEM101	大学生生活デザイン演習	2							G-			
	G-INF101	G-INF101	ICT基礎	2										
	L-		〔言語スキル科目・英語〕	4										
	G-		〔教養コア科目〕	8										
	L-		〔言語スキル科目・その他外国語〕	2										
	G-		〔健康・スポーツ科学・実習〕	2										
履修単位の目安				20									20	20/124
初年次の 学修の狙い	基礎教育分野の学修を中心に、①大学生としての学修スキル・基礎的能力や問題意識修得などを旨とする。②自律的で主体的な学修態度を高める。③キャリアを目指す学びの目標を考え、学修プランを立てる。④グローバルな視点から国や地域の問題を考え、課題に取り組む学修をする。													
	秋学期	<p>A: 2年次以降の学修に備え基礎教育科目を選択履修する。教養コア科目については、なるべく2年次の欄に掲載されている科目群の中から選択して履修計画を立てる( TIUCOA科目2単位、英語科目2単位以上、教養コア科目から4単位程度、その他外国語/健康スポーツ科学・実習/その他から2単位程度)。□</p> <p>B・C: 国際関係学入門は必修であり、2年次以降の専門学修の基礎となるので必ず履修すること。その他、上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(10単位程度)。□</p> <p>D: 余裕があればプロジェクト科目、キャリア形成支援科目などの実践型学修に取り組む。□</p>												
春学期	<p>A: TIUCOA科目(必修科目)、英語科目を優先して履修する。教養コア科目については、なるべく2年次の欄に掲載されている科目群の中から選択して履修計画を立てる( TIUCOA科目6単位、英語科目4単位、教養コア科目から8単位程度、その他外国語/健康スポーツ科学・実習/その他から2単位程度)。□</p> <p>B・C: 専門科目は200番台のため初年次春学期には履修できない。A、D分野の履修を確実にし、秋学期に備えること。□</p> <p>D: 余裕があればプロジェクト科目、キャリア形成支援科目などの実践型学修に取り組む。□</p>													

国際関係学科 経済・経営分野卒業必要単位履修モデル

	基礎教育分野				専門分野		その他
	TIUCOA科目	教養コア科目 言語スキル科目「英語」以外	言語スキル科目「英語」	国際関係学入門(必修)	所属学科専門分野200番台	所属学科専門分野300・400番台	
卒業必要単位数	8	16	6	2	10	32	50
修得単位数	8	16	6	2	10	32	54
4年次	秋						6
	春						2
3年次	秋					14	8
	春					18	2
2年次	秋						20
	春				2		16
初年次	秋	2	6	2	2	8	
	春	6	10	4			

履修ロードマップ「国際関係学科/国際メディア学科:ツーリズム」分野

学科目分野	A:基礎教育分野 〔基礎・教養科目系列〕			B:ツーリズム分野の基幹科目 〔専門系列1〕			C:関連専門科目 〔専門系列2〕			D:実践型学修科目 〔キャリア・プロジェクト系列〕			各期履修単位数	積算履修単位数
	学年/学期	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名		
4年次秋学期				M-SEM301	専門演習	2								
履修単位の目安				M-SEM401	卒業研究	4								6 134/124
4年次春学期				M-SEM301	専門演習	2								2 128/124
履修単位の目安														
4年次の学修の狙い	<p>①大学時代の学修・研究の仕上げ段階として、学修成果の集大成を行う。同時に、②社会で求められる調査・分析・報告などの総合的な学力を磨く。さらに③研究・調査・分析等を深化させ、研究成果を卒業論文として公表することを旨とする。④DP要件を満たすことを最終確認する。</p> <p>秋学期 A:可能ならば広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。卒業要件を満たしているか必ず確認すること。□ B・C:専門科目:春学期の学修に加えて卒業研究に取り組み実践的な学修・研究の集大成とする。卒業要件を満たしているか必ず確認すること(6単位以上)。□ D:可能ならば観光実務研修や観光先進地研修の未履修科目を履修し、ツーリズムの実践力やリーダーシップの養成等を図る。□</p> <p>春学期 A:可能ならば広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。卒業要件を満たしているか必ず確認すること。□ B・C:大学での学修・研究の仕上げとして専門分野での学びの成果を高めるような履修を行う。卒業要件を満たしているか必ず確認すること(2単位以上)。□ D:可能ならば観光実務研修や観光先進地研修の未履修科目を履修し、ツーリズムの実践力やリーダーシップの養成等を図る。□</p>													

学科目分野	A:基礎教育分野 〔基礎・教養科目系列〕			B:ツーリズム分野の基幹科目 〔専門系列1〕			C:関連専門科目 〔専門系列2〕			D:実践型学修科目 〔キャリア・プロジェクト系列〕			各期履修単位数	積算履修単位数
	学年/学期	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名		
3年次春学期 & 秋学期				M-SEM301	専門演習	2+2	M-	〔他分野のB専門系列科目〕		C-	〔キャリア形成支援科目〕			
履修単位の目安(秋学期)				M-TRS305	観光社会学	4				G-	〔プロジェクト科目〕			
履修単位の目安(春学期)				M-TRS308	国際観光英語演習	2				M-	〔現場学習プログラム(履修制限外)〕			
				M-ENG301	英語通訳法	4				M-ISP401	観光実務研修 III	2		
				M-TRS302	MICE産業論	2				M-ISP402	観光先進地研修 III	2		
履修単位の目安(秋学期)				M-TRS304	観光コミュニケーション論	2							4+2	22 126/124
履修単位の目安(春学期)						12							4	20 104/124
3年次の学修の狙い	<p>①専門分野を中心に、主体的な学修・研究・調査の基盤作りを行う。②専門分野科目及び基礎教育分野科目の幅広い学修とを連携させる。③キャリア形成支援科目等で実践的・課題解決型学修を行い社会人としての基礎力を修得する。④教養・関連専門科目で幅広い観点からの判断ができる能力を養う。</p> <p>秋学期 A:可能ならば、広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。卒業要件をこの段階で満たすよう計画的に履修する。□ B・C:春学期までの学修をさらに発展させ専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。ツーリズムの現場では幅広い国際関係の教養が必要とされるので、Cは他分野のB系列専門科目を積極的に履修すること(300番台中心)。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(16単位程度)。□ D:ツーリズムでは研修やインターンシップやプロジェクト科目等実践型学修に積極的に取り組む必要がある。観光実務研修、観光先進地研修、観光まちおこしワークショップ(入門/実践)などの履修を強く薦める(春・秋学期または夏休み等を通じて10単位程度)。□</p> <p>春学期 A:可能ならば、広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。卒業要件をこの段階で満たすよう計画的に履修する。□ B・C:2年次までの学修を発展させ専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。ツーリズムの現場では幅広い国際関係の教養が必要とされるので、Cは他分野のB系列専門科目を積極的に履修すること(300番台中心)。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(16単位程度)。□ D:ツーリズムでは研修やインターンシップやプロジェクト科目等実践型学修に積極的に取り組む必要がある。観光実務研修、観光先進地研修、観光まちおこしワークショップ(入門/実践)などの履修を強く薦める(春・秋学期または夏休み等を通じて10単位程度)。□</p>													

学科目分野	A:基礎教育分野 〔基礎・教養科目系列〕			B:ツーリズム分野の基幹科目 〔専門系列1〕			C:関連専門科目 〔専門系列2〕			D:実践型学修科目 〔キャリア・プロジェクト系列〕			各期履修単位数	積算履修単位数
	学年/学期	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ナンバー	授業科目名		
2年次春学期 & 秋学期	G-LNG101	ことば学入門	4	M-SEM201	基礎演習	2+2	M-	〔他分野のB専門系列科目〕		C-	〔キャリア形成支援科目〕			
履修単位の目安(秋学期)	G-SOC106	社会学	4	M-TRS206	ホスピタリティ論	2				G-	〔プロジェクト科目〕			
履修単位の目安(春学期)	G-SCI106	統計学入門	4	M-TRS203	観光ビジネス論	2				M-	〔現場学習プログラム(履修制限外)〕			
	G-ECN101	経済学	4	M-TRS204	観光マーケティング論	2				M-ISP302	観光実務研修 II	2		
	G-SOC104	現代の社会	4	M-TRS307	観光魅力創造論	2				M-ISP303	観光先進地研修 II	2		
	G-OHM108	人文地理学	4	M-TRS306	観光マネジメント論	2								
	G-OHM110	地理学概論	4											
	L-	〔言語スキル科目・英語〕												
	L-	〔言語スキル科目・その他外国語〕												
履修単位の目安(秋学期)			6			6							4+2	22 84/124
履修単位の目安(春学期)			6			6							4	20 62/124
2年次の学修の狙い	<p>①専攻分野における適切で効果的な学修・研究・調査等の基礎能力の修得を図る。②専門科目での自律的・能動的な学びを行うための足固めとする。③実践的ないしキャリア志向の科目を学修することで、課題解決能力を養成する。④グローバル人材として幅広い教養を磨く学修をする。</p> <p>秋学期 A:広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。卒業要件をなるべく2年次で満たせるよう計画的に履修する(教養コア科目から4単位程度、言語スキル科目から2単位程度)。□ B・C:2年次春学期までの学修を基礎に専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。ツーリズムの現場では幅広い国際関係の教養が必要とされるので、Cは他分野のB系列専門科目を積極的に履修すること(200番台中心)。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(10単位程度)。□ D:ツーリズムでは研修やインターンシップやプロジェクト科目等実践型学修に積極的に取り組む必要がある。観光実務研修、観光先進地研修、観光まちおこしワークショップ(入門/実践)などの履修を強く薦める(春・秋学期または夏休み等を通じて10単位程度)。□</p> <p>春学期 A:広い視野と教養を修得するために基礎教育科目を選択履修する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。卒業要件をなるべく2年次で満たせるよう計画的に履修する(教養コア科目から4単位程度、言語スキル科目から2単位程度)。□ B・C:1年次の履修の上に積み上げる形で専門学修を展開する。上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。ツーリズムの現場では幅広い国際関係の教養が必要とされるので、Cは他分野のB系列専門科目を積極的に履修すること(200番台中心)。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(10単位程度)。□ D:ツーリズムでは研修やインターンシップやプロジェクト科目等実践型学修に積極的に取り組む必要がある。観光実務研修、観光先進地研修、観光まちおこしワークショップ(入門/実践)などの履修を強く薦める(春・秋学期または夏休み等を通じて10単位程度)。□</p>													

学科目分野	A:基礎教育分野 〔基礎・教養科目系列〕			B:ツーリズム分野の基幹科目 〔専門系列1〕			C:関連専門科目 〔専門系列2〕			D:実践型学修科目 〔キャリア・プロジェクト系列〕				
	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位	科目コード/ ナンバー	授業科目名	単位		
初年次 秋学期	G-SEM101	初年次演習	2	M-IRE203	国際関係学入門	2				C-	〔キャリア形成支援科目〕			
	L-	〔言語スキル科目・英語〕	2	M-MED207	メディア産業論	2				G-	〔プロジェクト科目〕			
	G-	〔教養コア科目〕	4	M-TRS205	観光メディア論	4				M-	〔現場学習プログラム(履修制限外)〕			
	L-	〔言語スキル科目・その他外国語〕	2	M-ENG201	英語通訳法入門	4				M-ISP201	観光実務研修Ⅰ	2		
	G-	〔健康・スポーツ科学・実習〕	2							M-ISP202	観光先進地研修Ⅰ	2		
履修単位の目安			10			8						2+2	22	42/124
初年次 春学期	G-SEM101	初年次演習	2							C-	〔キャリア形成支援科目〕			
	C-SEM101	大学生生活デザイン演習	2							G-	〔プロジェクト科目〕			
	G-INF101	ICT基礎	2											
	L-	〔言語スキル科目・英語〕	4											
	G-	〔教養コア科目〕	8											
	L-	〔言語スキル科目・その他外国語〕	2											
	G-	〔健康・スポーツ科学・実習〕	2											
履修単位の目安			20										20	20/124
初年次の 学修の狙い	基礎教育分野の学修を中心に、①大学生としての学修スキル・基礎的能力や問題意識修得などを旨とする。②自律的で主体的な学修態度を高める。③キャリアを目指す学びの目標を考え、学修プランを立てる。④グローバルな視点から国や地域の問題を考え、課題に取り組む学修をする。													
	秋学期	A:2年次以降の学修に備え基礎教育科目を選択履修する。教養コア科目については、なるべく2年次の欄に掲載されている科目群の中から選択して履修計画を立てる(TIUコア科目2単位、英語科目2単位以上、教養コア科目から4単位程度、その他外国語/健康スポーツ科学・実習/その他から2単位程度)。□ B・C:国際関係学入門は必修であり、2年次以降の専門学修の基礎となるので必ず履修すること。その他、上記に掲載した科目群を中心に履修計画を立てる。難易度や他科目との関連も重要なのでシラバスをよく確認すること(6単位程度)。□ D:ツーリズムでは研修やインターンシップやプロジェクト科目等実践型学修に積極的に取り組む必要がある。観光実務研修、観光先進地研修、観光まちおこしワークショップ(入門/実践)などの履修を強く薦める(春・秋学期または夏休み等を通じて4単位程度)。□												
	春学期	A:TIUコア科目(必修科目)、英語科目を優先して履修する。教養コア科目については、なるべく2年次の欄に掲載されている科目群の中から選択して履修計画を立てる(TIUコア科目6単位、英語科目4単位、教養コア科目から8単位程度、その他外国語/健康スポーツ科学・実習/その他から2単位程度)。□ B・C:専門科目は200番台のため初年次春学期には履修できない。A、D分野の履修を確実にを行い、秋学期に備えること。□ D:余裕があればプロジェクト科目、キャリア形成支援科目などの実践型学修に取り組む。□												

国際関係学科 ツーリズム分野卒業必要単位履修モデル

	基礎教育分野			専門分野			その他
	TIUコア科目	教養コア科目 言語スキル科目 「英語」以外	言語スキル科目 「英語」	国際関係学入門 (必修)	所属学科専門 分野200番台	所属学科専門 分野300・400 番台	
卒業必要単位数	8	16	6	2	10	32	50
修得単位数	8	16	6	2	10	32	60
4年次	秋						6
	春						2
3年次	秋					16	6
	春					16	4
2年次	秋						22
	春				4		16
初年次	秋	2	6	2	2	6	4
	春	6	10	4			

国際メディア学科 ツーリズム分野卒業必要単位履修モデル

	基礎教育分野			専門分野			その他
	TIUコア科目	教養コア科目 言語スキル科目 「英語」以外	言語スキル科目 「英語」	国際関係学入門 (必修)	所属学科専門 分野200番台	所属学科専門 分野300・400 番台	
卒業必要単位数	8	16	6	2	10	32	50
修得単位数	8	16	6	2	10	32	60
4年次	秋						6
	春						2
3年次	秋					16	6
	春					16	4
2年次	秋						22
	春				2		18
初年次	秋	2	6	2	2	8	2
	春	6	10	4			